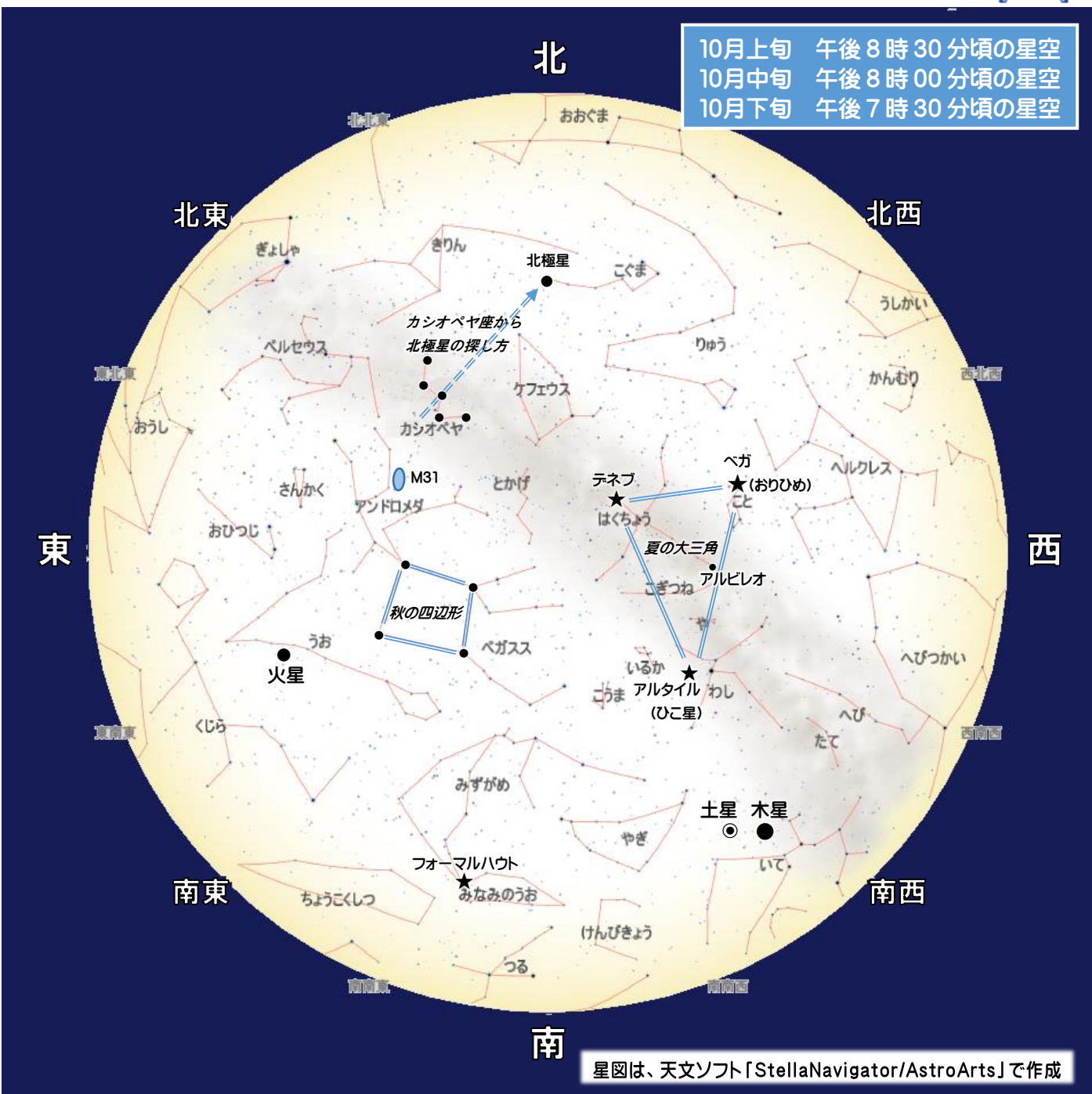


2020年 10月の星空案内



【10月の星空】

天頂（頭の真上）付近には、まだ『夏の三角形』（ベガ・アルタイル・デネブ）が目立ちます。これを追って東の空から上ってくるのが秋の星座たちです。ペガサス座とアンドロメダ座の星々を結んでできる『秋の四辺形』は全て2等星ですが、周囲に明るい星がないのでよく目立ちます。南の低い空には、明るい星がぼつんと1つ輝いています。秋の星座で唯一の1等星、みなみのうお座のフォーマルハウトです。

【お月見と惑星】

1日が中秋の名月「十五夜」、翌2日が満月です。昔からお団子やすすきの穂、作物などを飾りお月見を行う風習が各地に残されています。29日は「十三夜」のお月見、栗名月、後の月とも呼ばれます。

6日には「火星」が2年ぶりに地球に接近します（-2.6等）。この前後2か月ほど、東の空にオレンジに輝く火星を見つけてみてください。また、夏から目立っている「木星」と「土星」がどんどん近づいていきます。22日には木星が、23日には土星が、月のすぐ近くに見えます。